

エマルジョン燃料製造装置の商品化支援

浦井アドバイザーによる支援

技術開発中のエマルジョン燃料製造に関する特許の出願相談を受けたことから支援開始

《技術開発段階のサポート》

- ◆ 特許検索方法、明細書の読み方指導
- ◆ 権利化を視野に入れた技術開発戦略策定の支援
- ◆ 開発成果の棚卸しと先行調査結果からの発明のポイント抽出指導

《権利化に向けたサポート》

- ◆ 特許出願戦略策定支援
- ◆ 弁理士と連携して特許出願の支援
- ◆ 無料先行技術調査、早期審査制度等中小企業向け支援施策等の説明

株式会社三江工業

- エマルジョン燃料製造装置を企業経営の柱として育てたい
- 現在開発中のエマルジョン燃料製造技術が特許権を取得できるか調査したい
- 特許権を取得して知財マインドの向上を図りたい

特許情報活用による成果

特許出願1件
特願 2008-331271

- ◆ 技術開発段階での特許情報活用の重要性を認識
- ◆ 企業における財産としての特許権利の意識向上

この支援によって開発・販売された商品

商品名「エマルジョン燃料製造装置」

燃料消費量を20%削減すると共に窒素酸化物、PM(黒鉛)、CO2の発生を減少させます。装置は大変コンパクトで省スペース対応です。温室ハウス、酪農、共同浴場、病院、スーパーなどに最適です

支援先企業の概要

- | | | | |
|------|-----------|--------|-------|
| ■会社名 | 株式会社三江工業 | ■代表取締役 | 江崎 宗亮 |
| ■住所 | 福岡県京都郡苅田町 | ■設立 | 1977年 |
| ■資本金 | 1,000万円 | | |

浦井正章(北九州知的所有権センター)特許情報活用支援アドバイザーの一言

エマルジョン燃料は、油膜に取り囲まれた水粒子が着火時に加熱膨張してマイクロ爆発を起こし、油滴と空気との接触面積が増大し、効率の良い燃焼が達成されます。

技術のポイントは、如何に細かい水粒子を油膜で包み込むことにあり、大変ユニークな装置でこれを実現されました。弁理士との打合せ時、当方も同席し弁理士に対しては技術のポイント・工夫した点や取得したい権利範囲の明確な説明を、企業に対しては弁理士への的確な説明の手助けを行うなど接着剤の役割を果たしました。



平成21年2月現在

